

2015年4月22日

<小型車配送の共同化について>

アサヒビール社、麒麟ビール社、サッポロビール社における
東京都内小型車配送に関する協業について
～環境負荷の低減と業務効率化を目指して、東京都の一部エリアで共同配送を実施～

アサヒビール株式会社
麒麟ビール株式会社
サッポロビール株式会社

アサヒビール株式会社（社長 小路明善）、麒麟ビール株式会社（社長 布施孝之）、サッポロビール株式会社（社長 尾賀真城）は、物流部門での環境負荷の低減および3社のより一層の業務効率化を目指し、東京都の一部エリアで小型車配送の共同化を行うことで合意しました。

※通常は工場から10t車以上の大型トラックで卸店に配送を行っているが、一部の地域では2～4t車の小型トラックで配送している形態がある。

今回の共同化では、2011年8月からすでに相互活用を進めているアサヒビール社と麒麟ビール社の拠点に加え、新たにサッポロビール社の拠点を相互活用拠点として位置づけ、東京都の一部小売店に対し、ビール系飲料・洋酒・ワイン・焼酎やグループの清涼飲料水などの商品を対象に順次共同配送を開始します。

1次展開として、2015年6月16日から足立区・台東区・墨田区・荒川区・文京区・葛飾区の東京都内6区で開始し、2次展開として、2015年秋頃から東京都内の他エリアにも順次拡大していきます。

この取り組みにより、配送距離の短縮・積載率の向上が実現するとともに、3社合計で、年間のCO₂排出量を約137t（従来比で約18%）削減可能と試算しています。

アサヒビール社、麒麟ビール社、サッポロビール社は、市場では競争として公正な競争を展開する一方で、世界的に関心が高まっている環境問題に対して、環境にやさしく経済性の高い物流の共同展開を行うなど、「競争と協調」の視点から既存の枠組みを超えた協力体制を構築することで、更なる持続可能な社会への貢献を目指していきます。

*添付資料・・・小型車配送の共同化について

【今回の件に関するお問い合わせ先】

アサヒグループホールディングス株式会社 広報部門 TEL：03-5608-5126
麒麟株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：03-6837-7028
サッポロホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：03-5423-7407

■2015年6月16日以降の共同配送エリア

対象エリア	変更後 (2015年6月16日～)				変更前 (2011年8月29日～)			
	出荷拠点	配送対象			出荷拠点	配送対象		
		アサヒ ビール	麒麟 ビール	サッポロ ビール		アサヒ ビール	麒麟 ビール	
東京 都	江東区・江戸川区	麒麟 東部C	○	○	—	麒麟 東部C	○	○
	渋谷区・新宿区・中野区・ 杉並区	アサヒ 新宿DC	○	○	—	アサヒ 新宿DC	○	○
	港区・世田谷区・太田区・ 品川区・目黒区・調布市	アサヒ 平和島DC	○	○	—	アサヒ 平和島DC	○	○
	千代田区・中央区	麒麟 東部C	○	○	—	麒麟 東部C	○	○
	足立区（千住エリア除く）	サッポロ 足立DC	○	○	○	アサヒ 墨田DC	○	○
	足立区（千住エリアのみ） 台東区・墨田区・荒川区・ 文京区・葛飾区	アサヒ 墨田DC	○	○	○	アサヒ 墨田DC	○	○
	豊島区・練馬区・板橋区・ 北区	アサヒ 墨田DC	○	○	—	アサヒ 墨田DC	○	○
	三鷹市・小平市・西東京 市・東久留米市・東村山 市・府中市・武蔵野市・ 小金井市・国立市・町田 市・日野市・立川市・福 生市・八王子市・稲城市	アサヒ 西多摩DC	○	○	—	アサヒ 西多摩DC	○	○

(DC：配送センター、C：センター)

※1次展開として、2015年6月16日より足立区・台東区・墨田区・荒川区・文京区・葛飾区の東京都内6区で開始予定

※2015年秋頃を目途に、東京都内の上記6区以外のエリアで、アサヒビール社出荷拠点（墨田DC・新宿DC・平和島DC・西多摩DC）、麒麟ビール社出荷拠点（東部C）、サッポロビール社出荷拠点（足立DC・杉並DC）を活用し、2次展開を予定。